第４号様式(第３条関係)

液化石油ガス設備工事明細書(個別事項)

　(バルク貯槽：貯蔵能力500kg超～1,000kg未満その1)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 確認事項 | 確認 | | 備考  (添付書類) |
| 良 | 否 |
| バルク貯槽の設置状況 | □　地盤面上　　　□　地盤面下 |  |  |  |
| 使用バルク貯槽 | □　特定設備検査合格証　　　□　特定設備基準適合証 | 良 | 否 | (試験成績証) |
| 保安距離  構造壁 | □第1種保安物件：  　　　実際距離(　　)m　保安物件の名称(　　　　　　)  □第2種保安物件：  　　　実際距離(　　)m　保安物件の名称(　　　　　　)  　構造壁の設置：□必要　　□不必要 | 良 | 否 | (写真又は図面) |
| 安全弁 | □元弁はみだりに操作できない構造  □高圧ガス設備試験合格品　　　　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| 液面計 | □高圧ガス設備試験合格品　　　　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| 過充塡防止装置 | □高圧ガス設備試験合格品　　　　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| カップリング用液流出防止装置付き液取入弁 | 液取入弁：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品  カップリング：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| ガス放出防止器等付きガス取出弁 | ガス取出弁：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品  ガス放出防止器等：□調整器一体型　□大臣認定品  　　　　　　　　　□高圧ガス設備試験合格品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| ガス放出防止器、緊急遮断装置付き液取出弁 | 液取出弁：□使用　　□不使用(□プラグ止)  　　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品  ガス放出防止器等：  　　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| カップリング付き均圧弁 | 均圧弁：□使用　　　□不使用  　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品  カップリング：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| 貯槽のプロテクター | □附属機器はプロテクター内に設置(液面計、過充塡防止装置は漏えいのおそれのない場合は除く。)  □プロテクターの厚さ(　　　)mm | 良 | 否 |  |
| 表示等 | □液化石油ガス又はLPガス及び火気厳禁(朱書)  □緊急時連絡先 | 良 | 否 |  |
| 貯槽の支柱及びサドル | □支柱　□サドル | 良 | 否 |  |
| 車両からの保護 | □ネットフェンス　□ガードパイプ　□縁石　□その他(　　) | 良 | 否 | (写真又は図面) |
| 設置場所  火気を遮る措置 | □屋外に設置すること。　□火気(　　　　)まで(　　)m  □距離不足の場合の措置方法（　　　　） | 良 | 否 |  |

　(バルク貯槽：貯蔵能力500kg超～1,000kg未満その2)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 確認事項 | 確認 | | 備考  (添付書類) |
| 良 | 否 |
| バルク貯槽の漏えい防止 | □バルク貯槽は漏えいのない構造 | 良 | 否 |  |
| ガス漏れ検知器及び常時監視システムの設置 | □ガス漏れ検知器の設置：  　　□有　　　　□無→　　　□周囲に構築物等なし  　　　　　　　　(地上のみ)　□3月に1回以上漏えい確認  　　　　　　　　　　　　　　　実施  □常時監視システムの連絡先：(　　　　　　　　) | 良 | 否 |  |
| 高圧配管内の再液化防止措置 | □プロテクター内　　　　　□バルク貯槽の直近 | 良 | 否 |  |
| 以下地上設置に係る項目 | | | | |
| 基礎の設置 | □地盤面からの高さ：(　　　　　)cm  □床面(□コンクリート　□その他(　　　　　)) | 良 | 否 |  |
| 基礎との固定 | □アンカーボルト等で基礎に固定 | 良 | 否 |  |
| 接地 | □接地の有無：□有　□無  □接地接続線：断面積(　　　　)mm2  □接地棒：直径(　　)mm、長さ(　　)cm、材質(　　) | 良 | 否 |  |
| 安全弁放出管開口部の位置 | □開口部の位置：バルク貯槽の頂部から(　　　)cm  □雨水の浸入防止措置：(　　　　　　　　　　　　) | 良 | 否 |  |
| 以下地下埋設に係る項目 | | | | |
| 埋設の深さ | □バルク頂部は地盤面下(　　　)cm | 良 | 否 | (写真) |
| 浮き上がり防止措置 | □バルク貯槽空体総質量(　　　　)kg  　コンクリート板質量　(　　　　)kg  　バルク貯槽の全容積　(　　　　)m3  　コンクリート板の容積(　　　　)m3 | 良 | 否 | (写真) |
| 埋め戻し | □石塊等のない砂や土 | 良 | 否 |  |
| ガス検知用の孔あき管 | □設置本数：(　)本　□バルク貯槽の周囲(　　)cm  □材質：□硬質合成樹脂製　□ステンレス製  □内径(　　　　)cm　□孔の間隔(　　　　)cm | 良 | 否 | (写真) |
| 標識杭 | □4隅に標識杭を設置 | 良 | 否 | (写真) |
| 断熱措置 | □不燃の裏当ての厚さ(　　　　　)cm | 良 | 否 |  |
| 貯槽の腐食防止措置 | □電気防食措置  　(マグネシウム(　　　　)kg×　　　本) | 良 | 否 |  |

(備考)　1　該当する項目の□にレ印を記入すること。

　　　　2　確認の欄は基準の適合状況を確認して良・否を判定し該当箇所を○で囲むこと。

　　　　3　備考欄に記入されている添付書類を別途添付すること。

　　　　4　貯槽以外の試験成績書の添付については備考欄に成績書番号を記載することで、これに代えることができる。

　　　　5　付近の状況図及び敷地内配置図等を添付すること。

　　　　6　配管図(バルク貯槽から使用末端ガス栓までの設置状況を示したもので、埋設管と地上管の区別をしたもの)を添付すること。

　　　　7　気密試験(高圧部に係るものを除く。)は、自記圧力計を使用して行い、そのチャート紙の写しを添付すること。ただし、高圧部については、メーカーの試験成績書を添付することで、これに代えることができる。